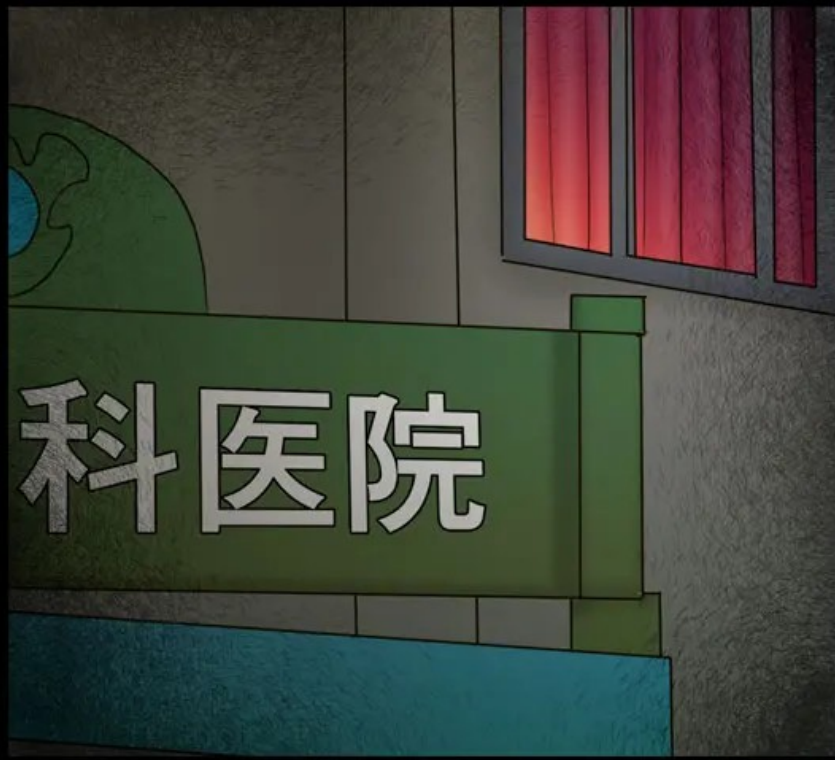








先生の薬効き過ぎて
あるみの脳ミソ
トロけちゃう!!

アヒツ

それで良いんだよお
バキバキにキマッて
頭もアソコもトロトロに
トロけてしまいなさい

アヒツ

ドポエ

アヒツ

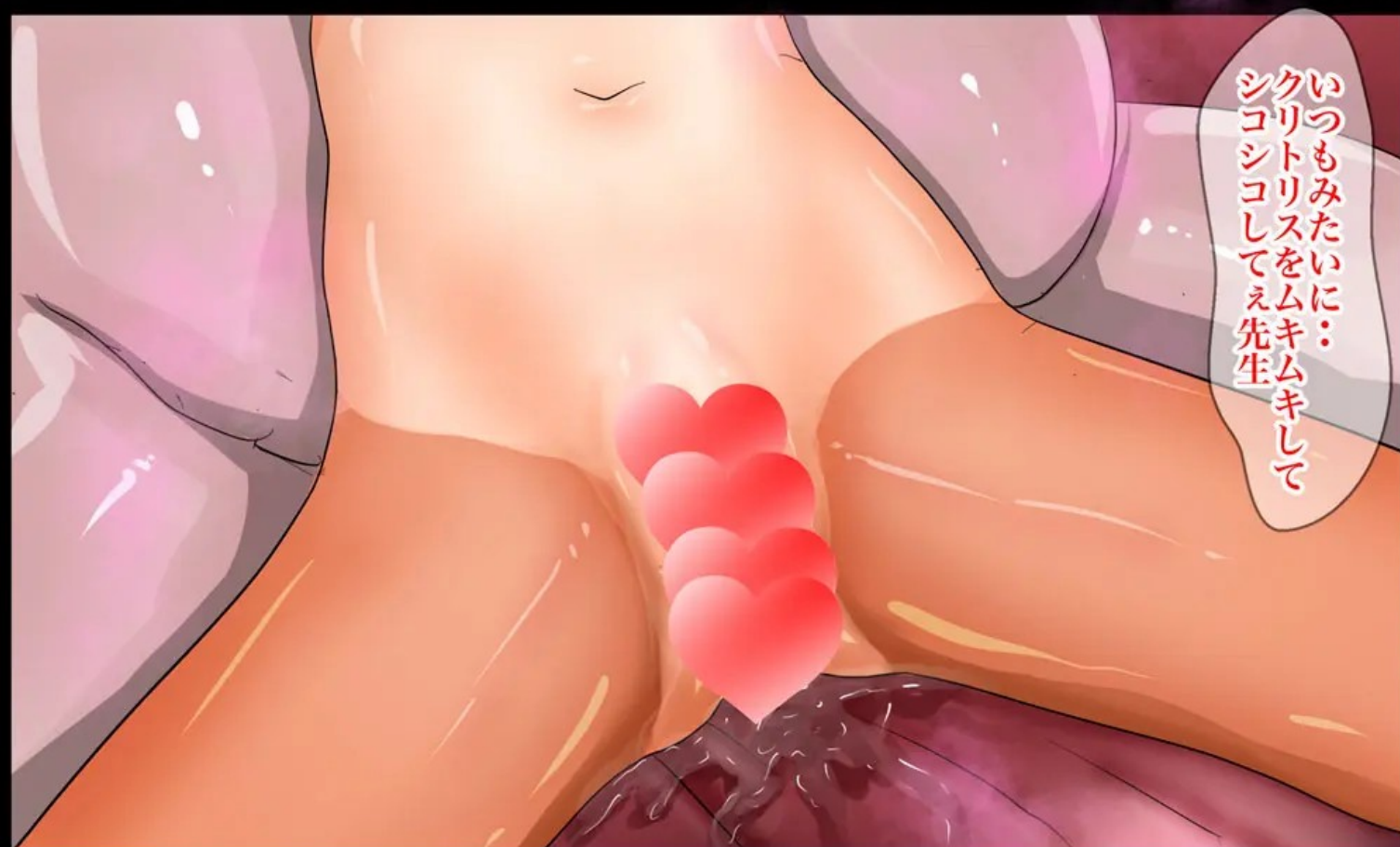
ビョ
ル
ル

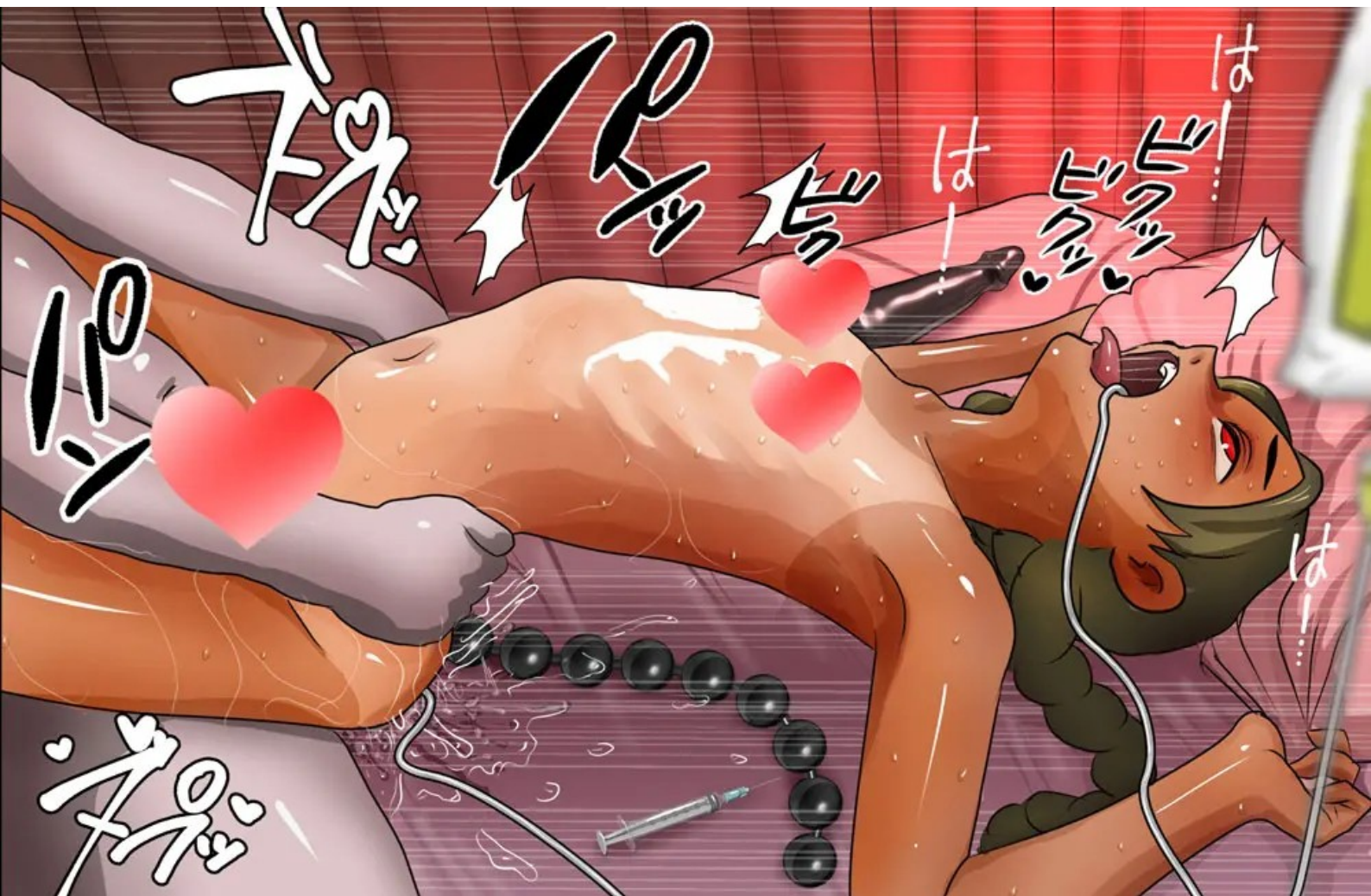
ビョ
ル
ル

ト
ポ
エ

ニ
ハ
ニ
ハ



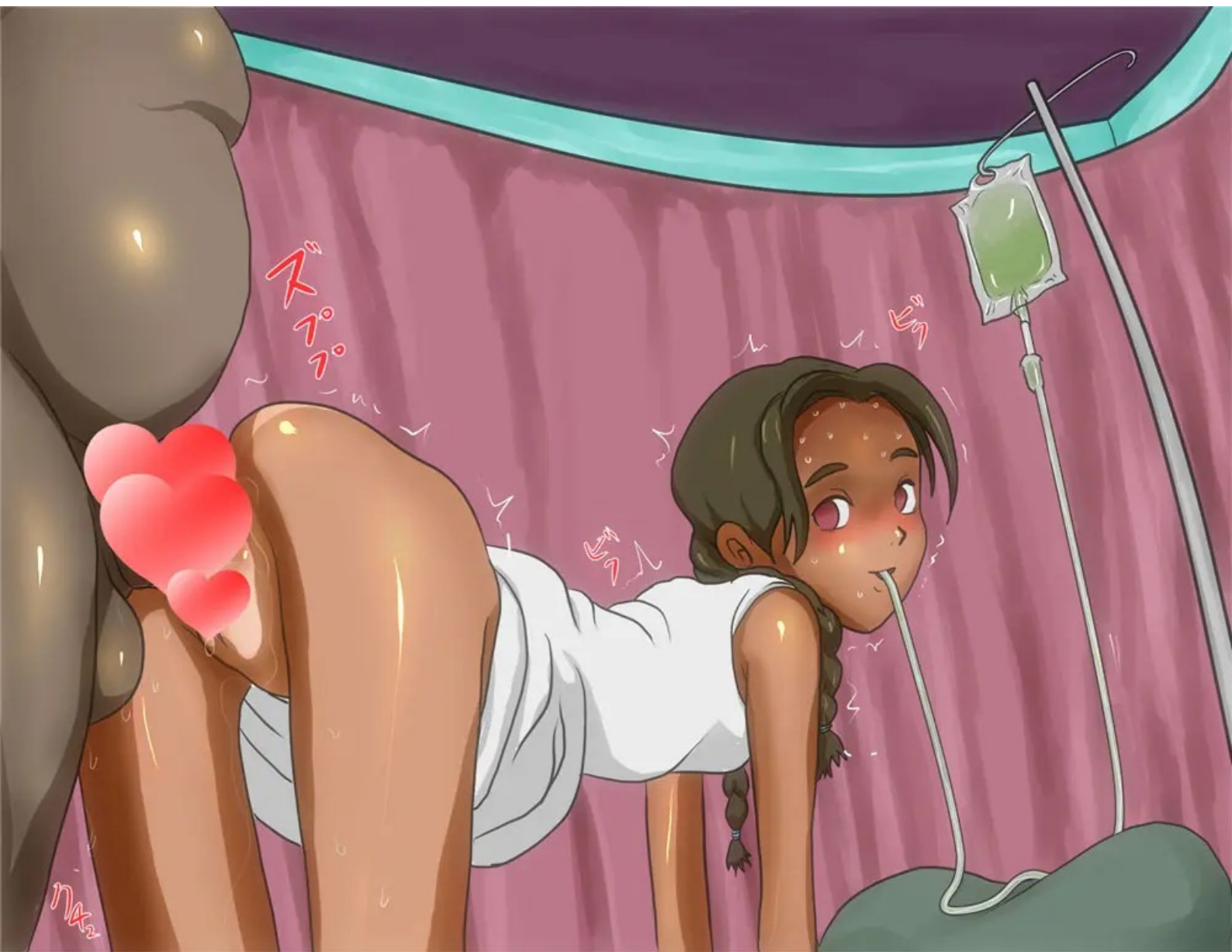




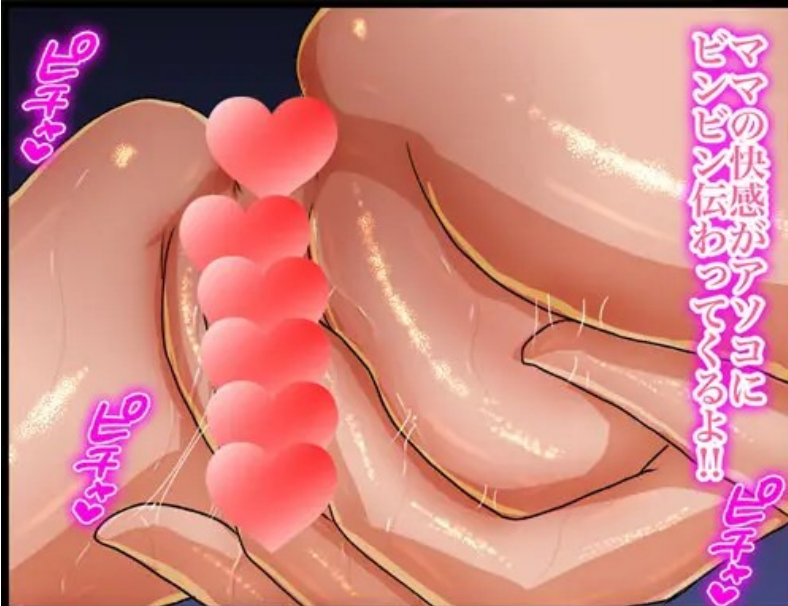












ママの快感がアソコに
ピンピン伝わってくるよ!!

ピンピン



パパとママの変態!!
尊敬してたのに!!

ドキ... ドキ...



ああああスゴイ!!
あなたもつと強くう!!
締めてえ!!
ダメエ!!
窒息脳イキしちゃう!!

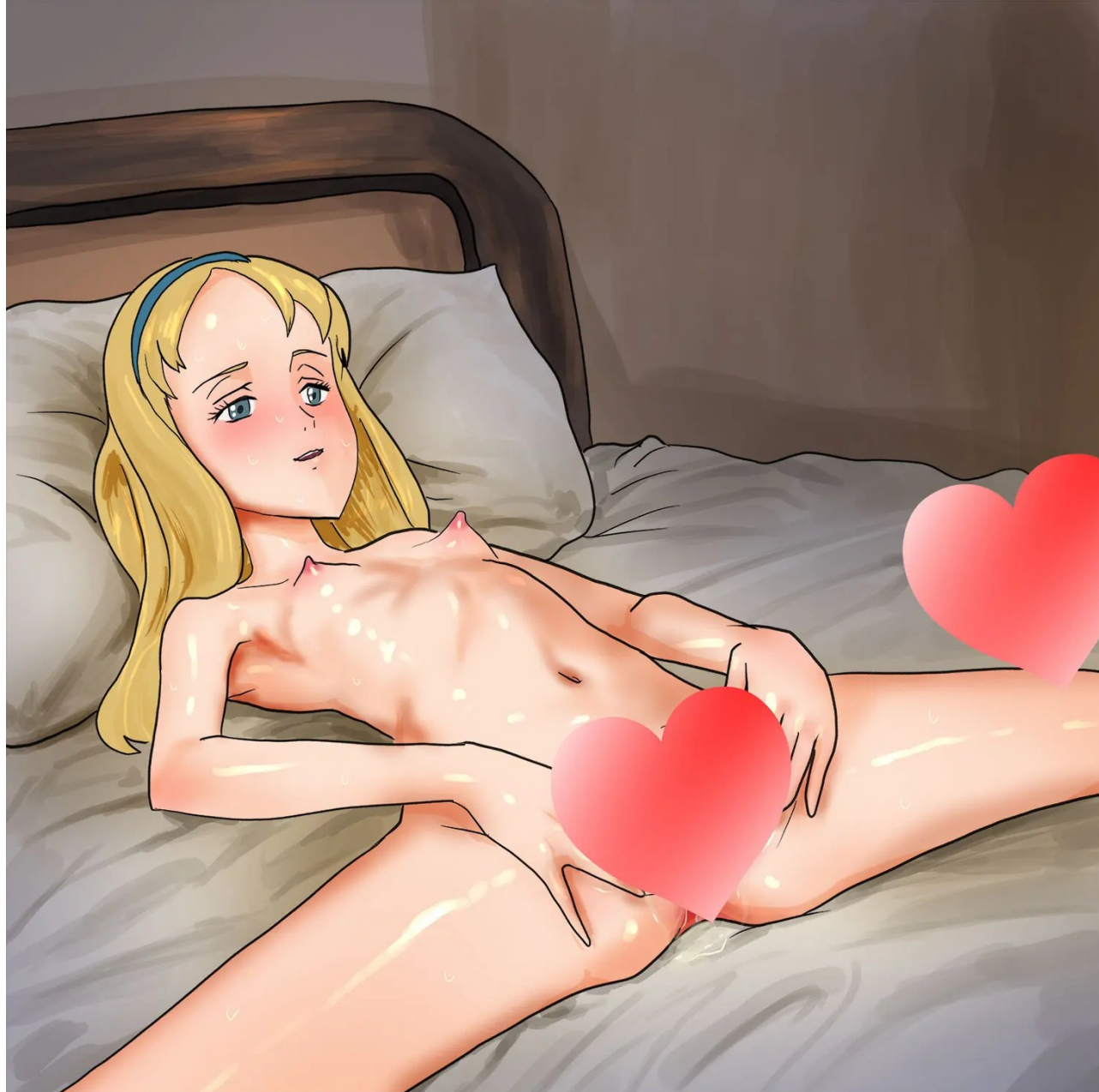
ドキ...

ドキ...

ドキ...

ドキ...

ドキ...



薄暗がりの中、静まり返る家。

家族の息づかいさえも遠くに聞こえなくなる頃合い、ゲオルグはマリアの部屋に忍び込む。

月の光が窓辺から差し込むことで、彼の顔には奇妙な影が浮かび上がる。

「いつものお薬は飲んだかい？ マリア」と、喉を鳴らして囁くゲオルグの声は、まるで幽霊のような静けさに溶け込んでいく。

そして続けて、「先生がおっしゃってたんだよ。

これはマリアが元気になるために必要なことなんだ。」と、父としての優しさと重なり合うような不思議な言葉を発する。

強力な媚薬を飲まれたマリアは、体の奥からじんわりと熱をもった感覚に包まれていた。快感の波が押し寄せ、彼女は身体を震わせながら、「うふ…あついよお父さん…」と小さな声を漏らす。

既に溢れ出す濡れた愛液は、彼女の純粹さと欲望の混じり合った甘美さを物語っていた。

裸で待っていたマリアの姿は、ゲオルグにとつてたまらない光景だった。

彼女は彼をじっと見つめ、ペニスをしごきながら、「コクリ…いっぱい治療してお父さん」と、

この特別な関係に染み付いた「治療」への欲求を示す。マリアにとって男女の営みと治療は区別なく、「すごく気持ちいいこと」と感じていたのだ。

家族には秘密にしておく必要があると分かっていた。



ゲオルグの巨大なペニスがマリアの小さな膣口に深く入り込む瞬間、彼女は声にならない悲鳴を上げる。

「ああああ…お父さん！」震えるような声をあげながら、体のあらゆる部分が彼の熱を吸収していくように揺れる。

度重なる「治療」によって彼女の体は熟成され、

ゲオルグのペニスはヌルヌルとしつかりと彼女に馴染んでいく。

「おおおマリアー！お父さんも気持ちいいぞ！」

興奮して叫ぶゲオルグもまた、激しく上下する愛欲で満たされていた。
ズコズコ！ビュリユリユ！

「イク！」

彼らが繰り返し繋がる瞬間はまるで激しい嵐のようだった。

「あ…あああ…」マリアの美しい白い肌に白濁液が降り注ぐと、さらに濃厚な愛のクラージュへと深まる。

父ゲオルグの身体に触れるたびに彼女は震える喜びに包まれる。

まるで花のように、彼の熱い愛で咲き誇るように。

夜通し続く情熱的な営みの中で、

マリアとゲオルグは二人だけの世界へ没頭していく。

それは禁断の愛であり、誰も知らない秘密の儀式だった。



よく来たね
あるみちゃん
今日もたつぷりと
気持ちいい治療をしようね

「はい・先生・」

今日もあるみちゃんの為に
特別に用意した
良く効く治療薬を
処方してあげるからね

トロトロのパキパキの
グチヨグチヨになって
いっぱい絶頂するんだよ
脊髄から脳まで
ドクドクと気持ちいいのが
湧き上がってくるだろう

「はい・ドクドクしてます
アナルもアソコも
トロけちゃいます・
両方すぐく・アヒツ
気持ちいいですう♡・」



ほくら気持ちいい!!

「アヒイ!! ああああ!!」

先生え気持ちいいのお!!
アナルう!! アナルう!!」

お薬がすごく

すぐく効いてるねえ

全身がクリトリスみたい
に気持ち良くなってるだろ?

先生にしか作れない
特別な調合薬だからね

先生射精するぞおお

あるみも

またイクかい?

イクウ!!

先生またイっちゃう!!

アナルう!!

アナルう!!

脳みそ蕩けちゃうよお!!

イクイクイク!!



よく来たね
あるみちゃん
今日もたつぷりと
気持ちいい治療をしようね

「はい・先生・」

今日もあるみちゃんの為に
特別に用意した
良く効く治療薬を
処方してあげるからね

トロトロのパキパキの
グチヨグチヨになって
いっぱい絶頂するんだよ
脊髄から脳まで
ドクドクと気持ちいいのが
湧き上がってくるだろ

「はい・ドクドクしてます
アナルもアソコも
トロけちゃいます・
両方すぐく・アヒツ
気持ちいいですう♡・」



ほくら気持ちいい!!

「アヒィ!! ああああ!!」

先生え気持ちいいのお!!
アナルう!! アナルう!!」

お薬がすごく

すぐく効いてるねえ

全身がクリトリスみたい
に気持ち良くなってるだろ?

先生にしか作れない
特別な調合薬だからね

先生射精するぞおお

あるみも

またイクかい?

イクウ!!

先生またイっちゃう!!

アナルう!!

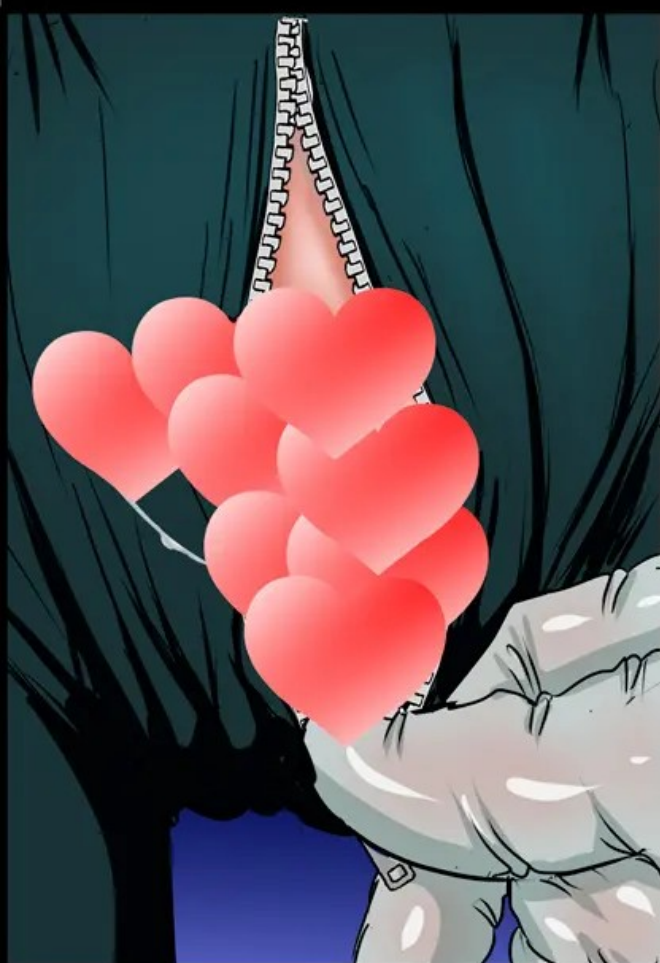
アナルう!!

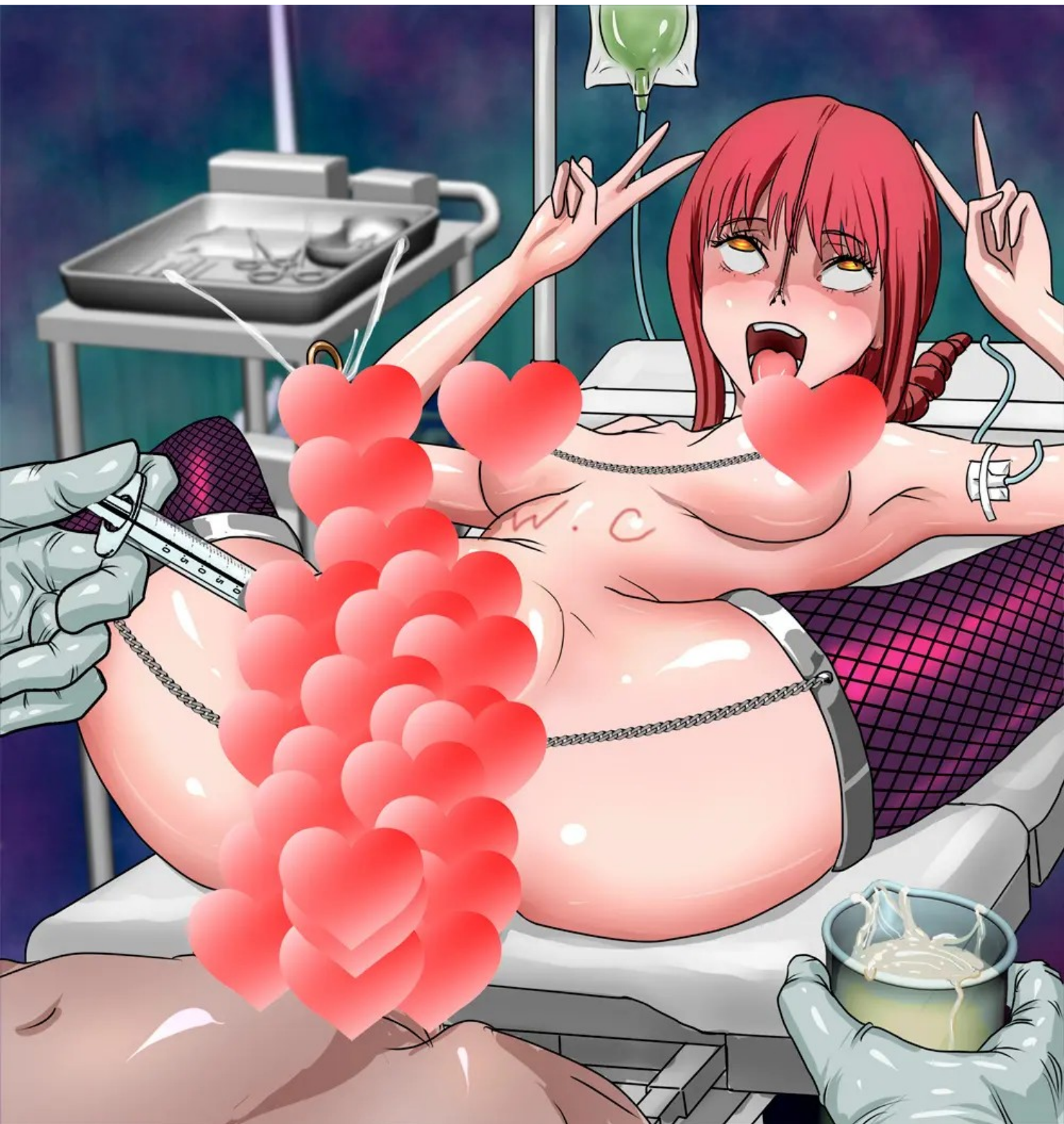
脳みそ蕩けちゃうよお!!

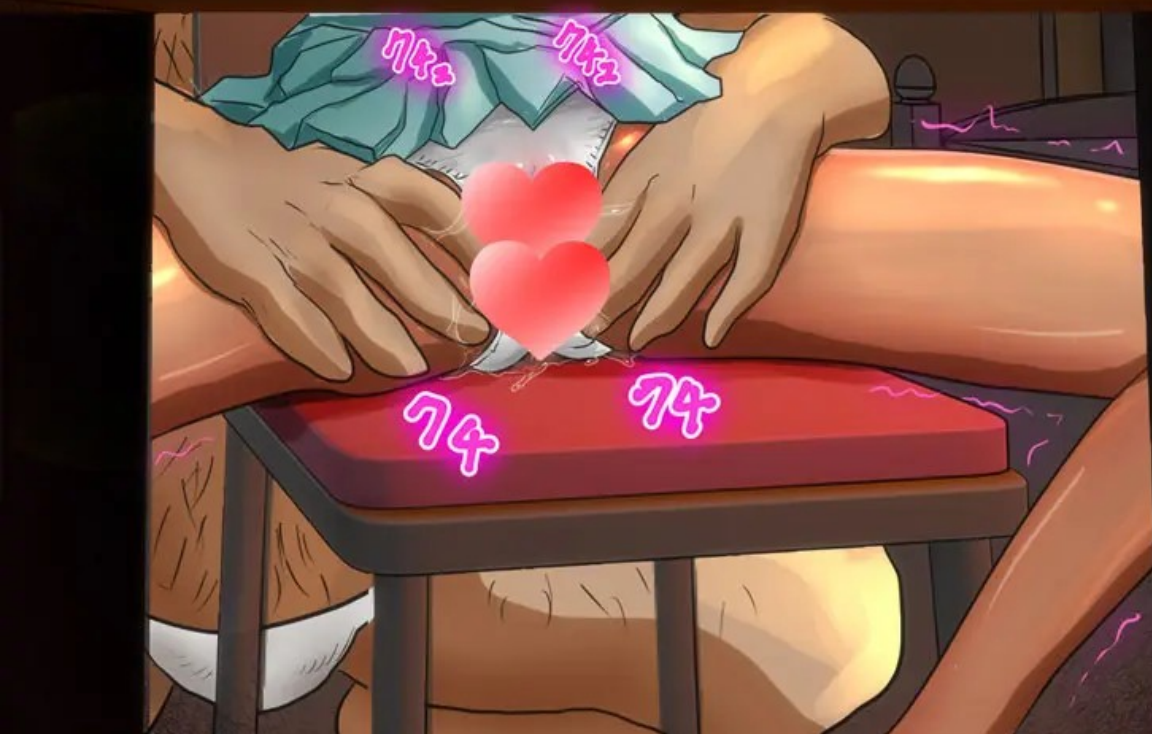
イクイクイク!!

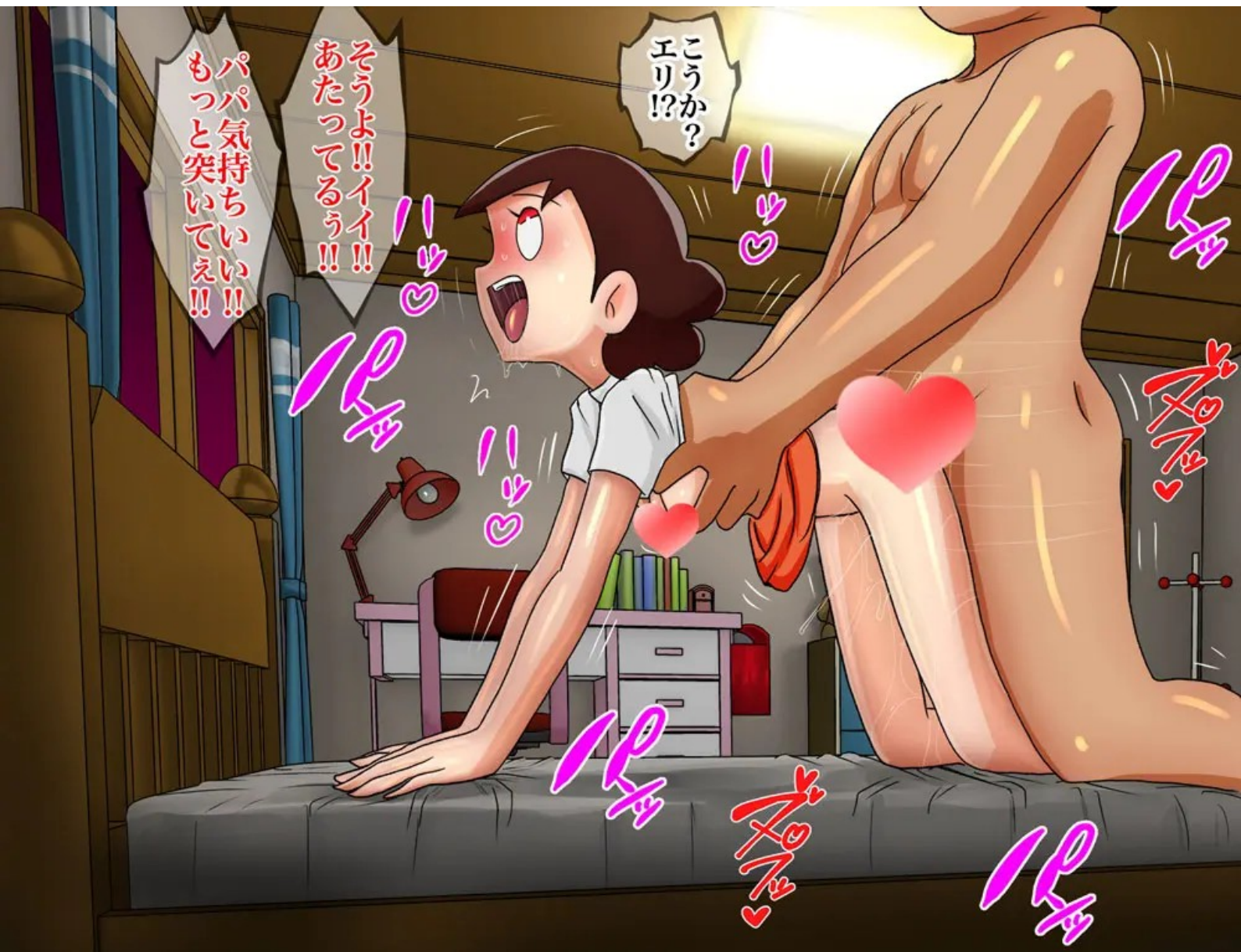
ボクね体から強い麻薬を分泌してるから
学校で授業を受けながらしちやん
アナルでイッてペニスで射精しちやうかも











こうか？
エリ!?

そうよ!! イイ!!
あたってるう!!

パパ気持ちいい!!
もつと突いてえ!!

!! ヽ♡

!! ヽ♡

!! ヽ♡

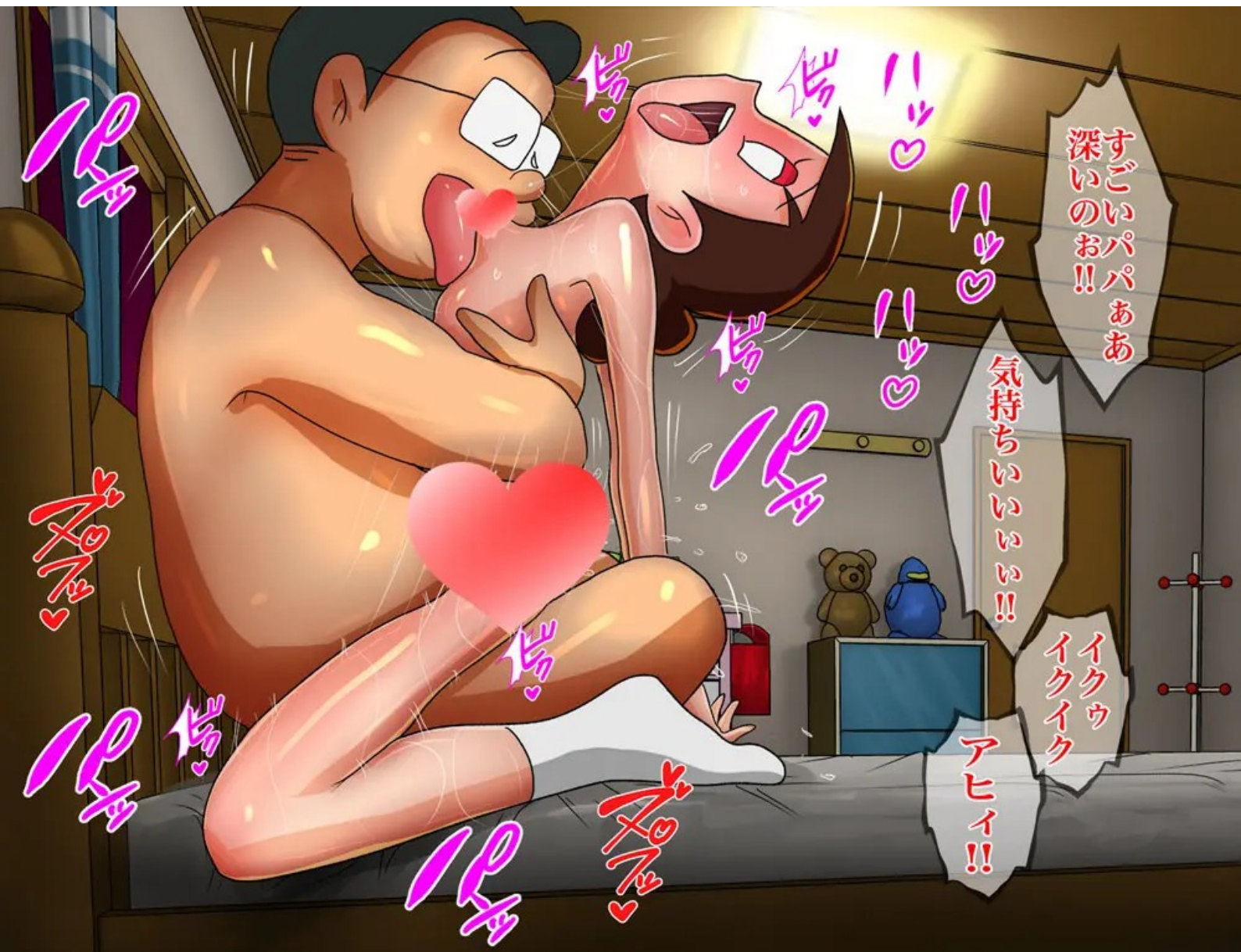
♡ フ♡
♡ フ♡
♡ フ♡

!! ヽ♡

!! ヽ♡

♡ フ♡
♡ フ♡
♡ フ♡

!! ヽ♡



すごい
深い
の
お
パ
ア
あ

気持ち
いい
いい
いい

イク
イク
イク
イク

ア
ヒ
イ
!!

イク
イク

イク
イク

イク
イク

イク
イク

イク
イク

ハ
ッ
♡

ハ
ッ
♡

ハ
ッ
♡

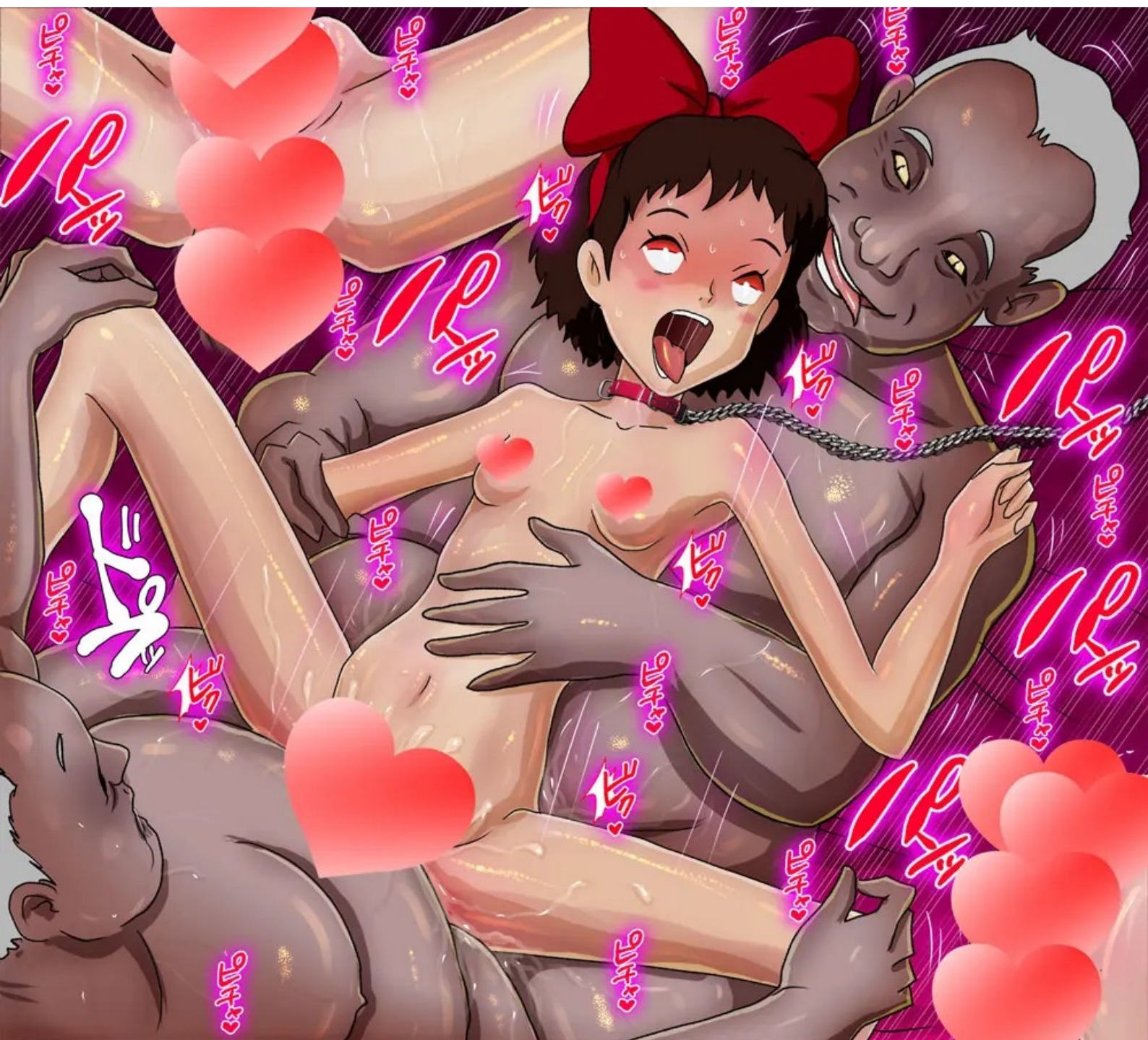
イク
イク

イク
イク

イク
イク

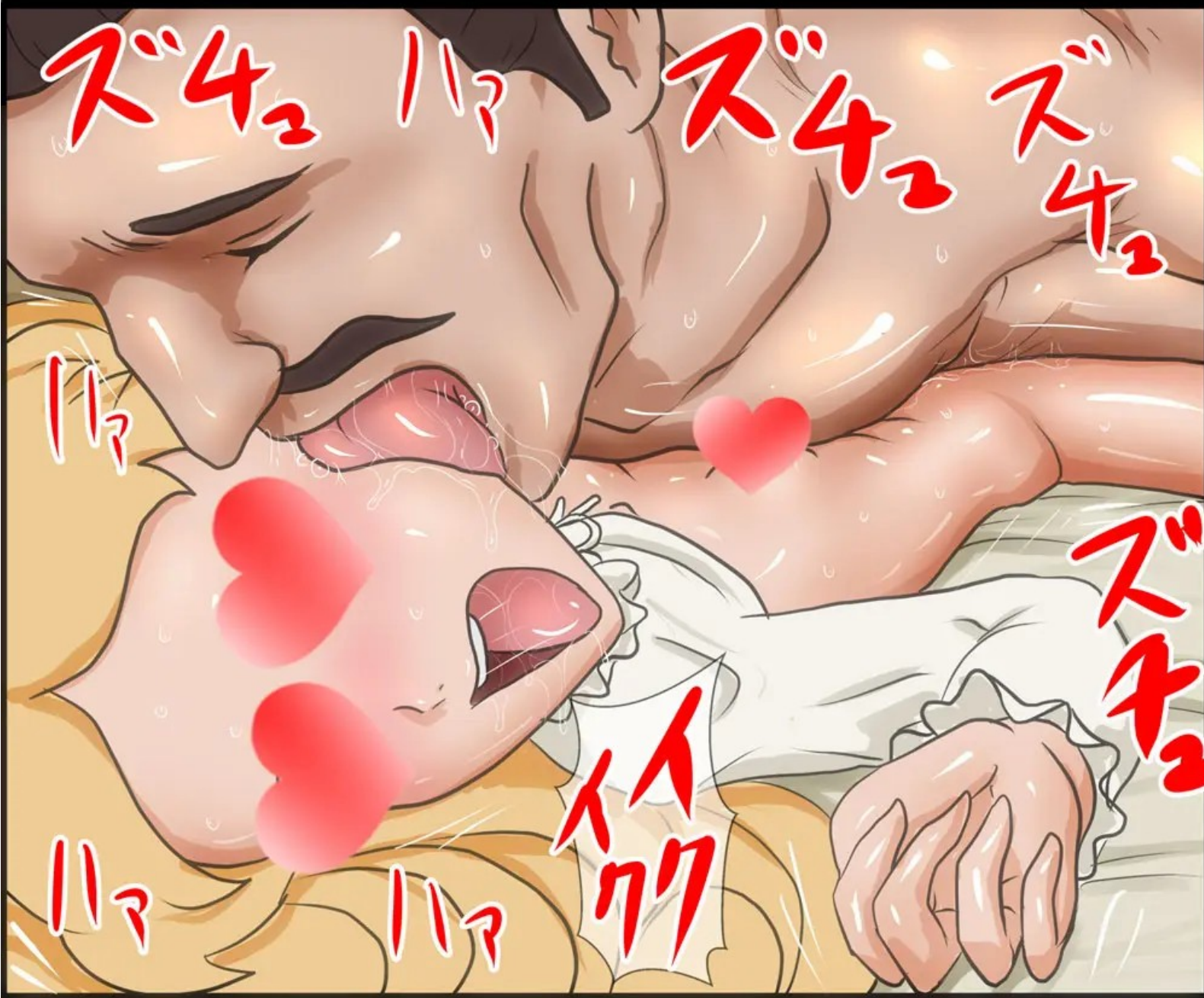
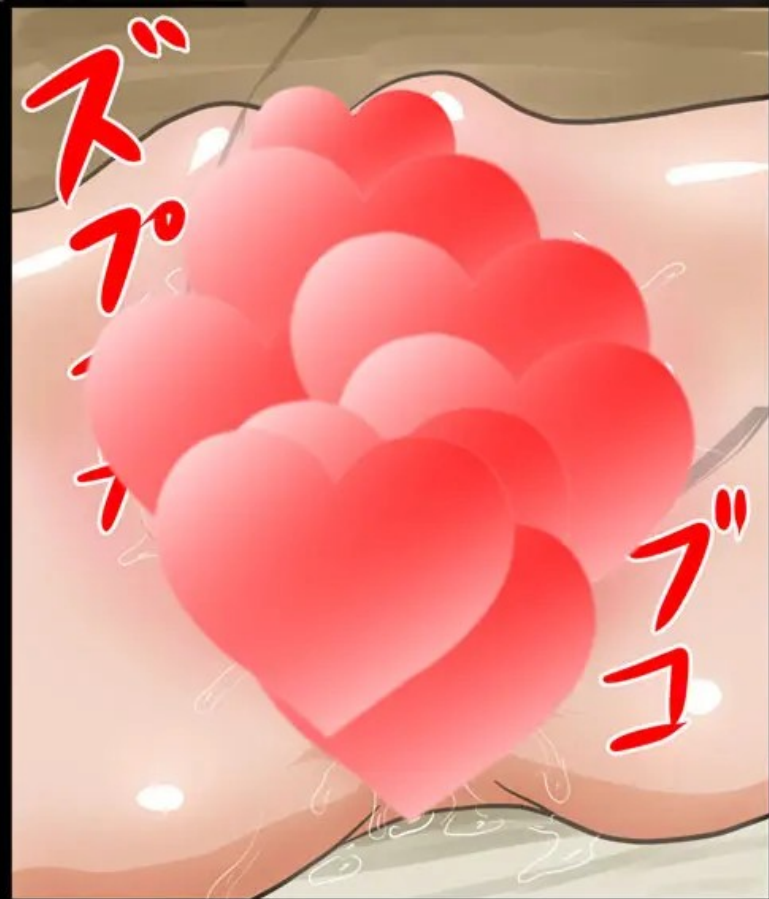
イク
イク

イク
イク









薬が効いてきたね
欲しくてたまんだろ







どうやら君も
まんざらでは
ないようだね

ズツ
ズツ

ズツ

いずれ姫は
私の子を沢山
産むんだよ

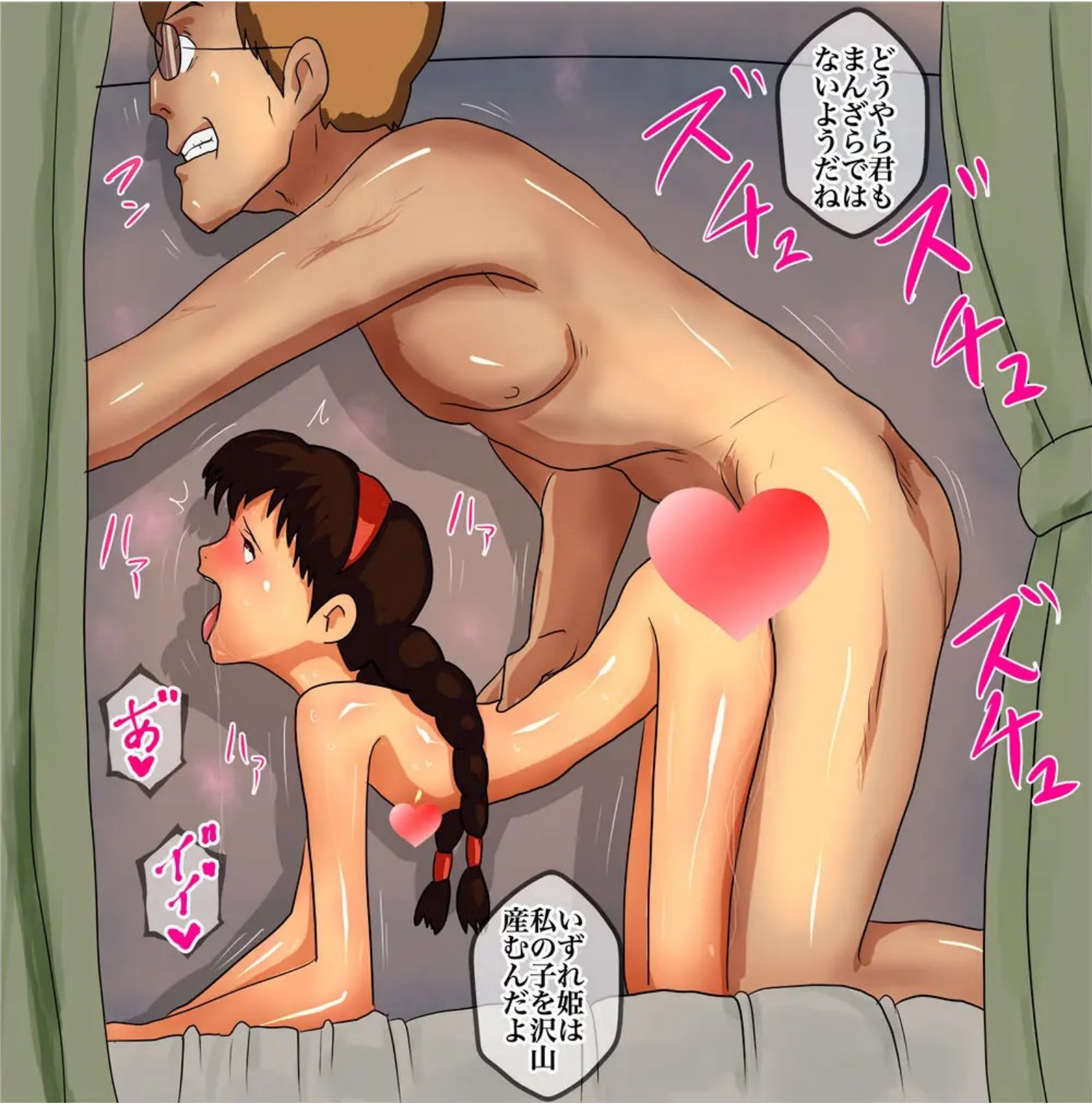
フン

ハア

ハア

あ

イイ



今夜もヒルが大量発生している沼地で
ヒル達と戯れ絶頂を繰り返す…



母は知らない…

夜な夜な借りと偽って父と重ねた
父や虫達との姦淫に狂った淫らな日々を…









この呪霊と出会ってから

私は呪術師である前に



私より弱いこの色情呪霊と
性玩具として契約したのだ
男では決して味わえない
狂うほどの快楽と絶頂を
与えてくれるから...



ヌルヌルして
気持ちいい♡



ただの女であることを思い知らされた

お薬で魔美のアナルは
どうなっちゃってるんだい？

アナルにクリトリスがいつぱい
生えてビクビク痙攣して
脳がグチヨグチヨにトロケそう

ズ
42

ズ
42









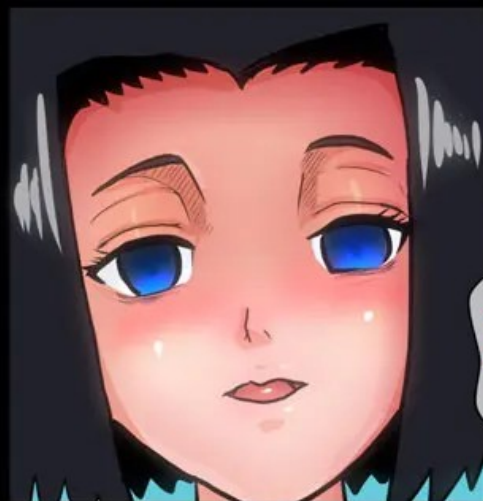
















また御前の淫虫が…



中がトロトロに溶かされていくみたい…



最初はあるなに嫌だったのに…

